

運営推進会議記録

開催 日時	平成29年5月29日(月) 14時00分～15時00分	場 所	サンフラワーグリーンホーム1F川治ユニット
参加事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・サンフラワーケアセンター（小規模多機能型居宅介護） ・サンフラワーグループホーム（認知症対応型共同生活介護） ・サンフラワーグリーンホーム（地域密着型介護老人福祉施設） 		
参加者	<p>○グリーンホーム 施設長 木下（議長）、計画作成担当者 古賀（悠）</p> <p>○ケアセンター・グループホーム 管理者 佐藤（書記）、介護支援専門員 菊田</p> <p>○ライフ 介護支援専門員 嶋田</p> <hr/> <p>○小山市地域包括ケア推進課 菅原様</p> <p>○高齢者サポートセンター桑絹 山田様</p> <p>○民生委員 大島様</p> <p>※上出井さわやか会（桑絹老人会）会長 岸本様は都合により欠席</p> <hr/> <p>○グリーンホーム利用者 大蔵様、入居者家族 岡様</p> <p>○ケアセンター利用者家族 井澤様</p> <p>○グループホーム入居者 椎名様、グループホーム入居者家族 角田様</p> <p>※ケアセンター利用者 松嶋様、は都合により欠席</p>		
<p>活動内容及び回数等 ※別紙 運営推進会議資料参照</p> <p>1. 開会あいさつ</p> <p>古賀) ただ今より、平成29年度第1回運営推進会議を始めます。</p> <p>2. 管理者あいさつ</p> <p>木下) お暑い中、またお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。平成29年から社会福祉法人の制度改正という所で、法人のあり方が見直されてくるという事で、今まで以上に法人としても施設としても透明性のある運営を確保していかなければいけない所です。そのような中で地域の方々に参加していただく運営推進会議においても、より中身の充実したものにしていきたいと考えております。施設の運営その他ご意見等いただければと思いますので今年1年間よろしく願いいたします。</p> <p>※今年度初回の運営推進会議ということと、委員の変更があった為、自己紹介を行う。</p> <p>3. 協議</p> <p>1) 各施設・事業所からの活動内容報告及び評価・助言等</p> <p>・サンフラワーケアセンターの活動内容報告及び評価・助言等</p> <p>菊田) ケアセンター運営推進会議資料読み上げにて説明</p> <p style="padding-left: 40px;">御意見・御質問等あれば宜しくお願い致します。</p> <p>参加者より、特に御意見・御質問なし。</p>			

・サンフラワーグループホームの活動内容報告及び評価・助言等

菊田) グループホーム運営推進会議資料読み上げにて説明

御意見・御質問等あれば宜しくお願い致します。

※資料の訂正 女性の入居人数 9名→4名

参加者より、特に御意見・御質問なし。

・サンフラワーグリーンホームの活動内容報告及び評価・助言等

古賀) グリーンホーム運営推進会議資料読み上げにて説明

御意見・御質問等あれば宜しくお願い致します。

参加者より、特に御意見・御質問なし。

2) 防災計画についての説明 ※添付資料なし

木下) 平成29年度の防災計画について説明させていただきます。老人部門の建屋としては、サンフラワーガーデン、サンフラワーグリーンホーム、サンフラワーケアセンター、サンフラワーグループホーム、それぞれを対象とした昼間・夜間想定総合訓練を各1回ずつ実施する予定となっております。4月に関してはすでに終了していますが、消防設備使用方法研修という事で、新規採用職員、中途採用職員等を対象として実施しました。主には、設備の設置場所、使用方法を学び、災害時に適切に使用出来るように研修を行いました。5月においては、総合訓練を行う前の部分訓練という事で、消火訓練、通報訓練を実施しました。6月に関しては、ケアセンター、ガーデンの夜間想定総合訓練を実施する予定です。グリーンホームについては7月に夜間想定総合訓練を実施する予定です。

10月にはガーデンの昼間想定総合訓練、11月にケアセンター・グループホームの昼間想定総合訓練、3月にグリーンホームの昼間想定総合訓練を実施予定です。桑分署の消防隊の方々にもご参加いただき、訓練後はアドバイスをいただいたりしております。

土砂災害に関する防災計画については、各建屋の特性、状況に応じた形で検討していく予定です。

3) 地域福祉推進の為の情報提供

○小山市地域包括ケア推進課

菅原) 今年度もよろしくお願ひいたします。

・「認知症（医療・介護）相談のご案内」について ※参考パンフレット有

認知症相談事業について、認知症対応の介護施設やサンフラワーグループホームにも小山市役所から業務委託をし行っていたいております。小山市としてもまだPRが足りないのご存じない方も多いかと思います。

ご近所等でお困りの方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介いただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。

今は相談件数がないような状況ですが、これから増えてくる可能性がありますし、ご家族等からの相談が可能かと思ひます。ご相談があれば適切な医療・介護につなげやすくなりますので、ご近所等に情報提供してみてください。

・小山市地域包括ケア推進課へ課名変更 ※参考資料有

平成29年4月1日から、「高齢生きがい課」から「地域包括ケア推進課」に課名変更。地域包括ケアというのがまだ浸透していませんが、医療、介護、生活支援、住まい等が切れ間なく地域で提供されて、住み慣れた地域でずっと住み続けられる地域づくりや支えあいの仕組みを作りましょうというのが大きな趣旨です。そういう所を目指していくという事で課名を変更しました。

・「高額介護サービス費の利用者負担段階区分に基準が変わります」について ※参考資料有

平成29年8月1日から高額介護サービス費の一般世帯区分の月額上限が37,200円から44,400円に引き上げになる事と、一般世帯区分で1割負担の被保険者のみの世帯については緩和措置が設定されます。

・3月24日小山市地域密着型サービス事業者集団指導について ※参考資料有

・熱中症予防 ※参考資料有

厚生労働省が熱中症予防に対するパンフレットを作成しました。今年は例年より暑くなるという予測があります。

資料にもあるように、「高齢者や子ども、障害者・障害児は、特に注意が必要です」熱中症患者の半数は60歳以上の高齢者ですので、十分ご注意くださいと思います。老人クラブやサロン等、機会がありましたら周知していただければと思います。

・光化学スモッグ注意報の発令状況について ※参考資料有

小山市役所の環境課からの情報提供があります。資料によると、被害者数が栃木県は19名と記載されています。小山市も4月～9月まで対策期間として行いますという事で、これは安全安心メールに登録していただければ、注意報が出た時にはお知らせしますという仕組みがあります。事業所においても登録しておいてくださいというお話がありました。資料裏面には登録方法が記載されています。

・小山市内での送迎事故について

先日、送迎事故が発生しました。だいたい1年おきくらいに起きているような状況があります。集団指導でもご注意した所でした。

今度改めて6月に小山警察署と小山市役所合同で講習会を予定しております。案内が届きましたら是非ご参加していただければと思います。新小山市民病院近くの健康医療総合センターで夜に開催予定です。

○民生委員

大島) 1ヵ月前くらいに近隣で住宅火災がありました。火災が怖いというのはしみじみと感じました。皆さんも気を付けていただければと思います。

○高齢者サポートセンター桑絹

山田) 地域の方々が安心して暮らせるように、生活環境を整える為に、認知症が進んでいるんじゃないとか、高齢者のみの世帯や独居世帯も多いかと思っておりますので、皆様からの情報をいただいて、地域の事業所とも相談しながら、今後も進めていきたいと思っております。

○グリーンホーム事例検討について

古賀) グリーンホーム事例検討資料読み上げにて説明

事例 90代、女性、内容：排泄の個別ケアの充実の為、排泄時間・回数の見直し
御意見・御質問等あれば宜しくお願い致します。

嶋田) 以前の職場で排泄関係に携わり、コスト10万近く落とした経験もあり、何かアドバイスできることもあるかと思っておりますので、必要があれば相談してください。

木下) 個別のリズムに合わせた排泄ケアが充実することにより、施設の経費削減にもつながればと考えております。

佐藤) 説明の中で、ユニチャームが関わっているという事でしたが、本来の目的としては利用者の尊厳を守る為の排泄の個別ケアを提供していくという事だと思うので、その説明がなく施設のコストについてを話してしまうと誤解を招いてしまうので補足させていただきました。

木下) そうですね。もともとユニチャームを導入した経緯としては、コストの低い尿とりパットを使用していて、横漏れが非常に多い状況にありました。それにより朝に全身更衣をする状況があり、不快な思いをさせてしまう事や介護負担増もあった為、何か改善策はないかという所で、ユニチャームに助言・協力いただきました。それに変える事で利用者の横漏れが減り、安心して夜間も休めるようになってきているようです。それなので、指摘があったように施設経営の面からではなく、個人の尊厳という面から改善を進めてきたという経緯となっています。

菅原) データまでとって、本人の排尿パターンまでやっている訳ですから、かなり個別ケアに重点を置いた対策になっているようですね。あとは、限られた職員数でという所が避けられない課題になってきますかね。やはり人材不足は否めないですよ。国も言っていることは、財源もない担い手もない高齢者は増えている、どうしようかという所になっていますので、介護の現場においても効率化・合理化が求められてくる。もしかしたら、介護報酬で介護ロボットを含めた業務の効率化を図らないとインセンティブをつけられてしまうかもしれませんので、介護現場において効率化・合理化を図るという意味ではいい事例ではないかと思っております。

次回 7/31(月) グループホームリビングにて実施予定

事業所名 社会福祉法人 洗心会
サンフラワーケアセンター

記録作成日 平成29年6月19日
記録作成者 管理者 佐藤 誠